

新たな憲法署名にただちにとりくみ、 安倍政権がねらう改憲発議を全力で阻止しよう

1月3日のアメリカの空爆により、軍事衝突から戦争に発展しかねない危険な状況が続いています。安倍首相は、イラン核合意から一方的に離脱したトランプ政権の有志連合構想への参加要請に応え、国会審議も経ないまま自衛隊を中東沖へ派兵しました。憲法9条をなし崩しにし、アメリカとともに戦争ができる国をめざす安倍政権の暴走が止まりません。

さらに、1月20日招集された通常国会の施政方針で、安倍首相は「令和の新しい時代が始まり、オリンピック・パラリンピックを控え、未来への躍動感にあふれた今こそ、実行の時だ」とオリ・パラを国威発揚に使って、憲法改悪に利用する異常な執念を示しました。自民党が「憲法改正の主役はあなたです」とするポスターを作成し、改憲勢力は「草の根」から改憲の動きをつくろうと必死です。

しかし、首相自らが改憲を争点とするとした昨年の参議院選挙で、改憲勢力は改憲発議に必要な3分の2を割り込み、自民党は単独過半数を失いました。示された民意は「性急な改憲は必要ない」ということです。「2020年を新しい憲法が施行される年に」という安倍首相の改憲スケジュールを大幅に遅らせ、いまだに国会で議論さえおこなわせない状況をつくり出してきたのは、憲法3000万署名運動を軸とした国民の運動の広がりです。「戦争法」に反対する国民的たたかいが所属組織の違いを超えた署名運動へ発展し、市民と野党の共闘を深化・発展させてきました。今国会の代表質問でも、野党各党は安倍政治からの転換を求め、連携・協力して政権交代を呼びかけました。私たちの運動が安倍首相の改憲の野望を押しとどめています。

「安倍9条改悪NO！全国市民アクション」は、憲法3000万署名の到達をふまえ、「安倍9条改悪NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけています。安倍首相がねらう改憲発議を阻止するために新たな署名に全力でとりくみ、改憲発議を許さない世論を広げぬことが求められています。

憲法について学び、その普遍的・積極的な意義について語り合う憲法カフェや、職場9条の会、「教育・子育て9条の会」のとりくみをいっそう広げること、憲法にもとづく主権者教育をすすめるとともに、高校生・大学生など青年層と憲法についての対話を広げることも重要です。

結成30周年を迎える私たち全教は、「教え子を再び戦場に送るな」を掲げる教職員組合運動の歴史と伝統を受け継ぎ、子どもたちに平和な未来を手渡すために、憲法改悪の策動と断固としてたたかい抜きます。暴走を続ける安倍政治を転換し、立憲主義を回復し、憲法がいきる社会を実現しましょう。

以上、決議します。

2020年2月9日

全日本教職員組合 第37回定期大会